

【 酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会 】

第 2 回 概 要 録

- 1 日 時 平成26年8月25日（月） 午後1時30分～
- 2 場 所 酒田市役所 4階 第一委員会室
- 3 内 容 以下のとおり

< 機能配置についての意見 >

- 酒田駅は玄関口としているが、駅利用者の方々だけを対象とした広場や駅周辺でいいのかが疑問である。高齢化が進行する中で、地元の方が集い、話し合えるような場所が欲しい。また、駅前だけでなく、中心市街地の各エリアの中にもあるべきと思う。
- 酒田市は海が近くにあり、大きな川が流れているわりにまちなかには親水空間が少ない。例えば、人工のせせらぎをつくって、植物を植えることで、憩え、来街者がきれいな場所だと思えるし、子どもたちが水遊びができるような場所をつくることによって、高齢者や子育て世帯が交流できるようになるのではないかと。
- 酒田駅は玄関口とのことだが、本当に玄関なのかなと思う。
- 駅前の活性化ということで話をしているが、人口減少・高齢化が進行する中で、今、中町に集中している施設が駅前に分散してしまうことになるのではないかと。
- 駅前と中町がどちらかということではなく、同時に元気になっていかないといけない。
- バスターミナルと駅前が離れていることは不便を感じる。
- 酒田に行けばこれがある。だからJRを使ってみんな集まってくるというぐらいのものを作らないと、形は整うかもしれないが、人口が減っていく中で、その後どうなっていくのか不安である。
- 商店街と駅前とは分けて考えた方がいい。
- 酒田でしかできないもの、特色ある付加価値をつけると他の市町村にも自慢できるものができるのではないかと。
- 今現在、駅周辺の方は買い物の不便が生じていないか。まちなか居住を推進する前提として、旧ジャスコ跡地周辺に野菜も扱うようなコンパクトな商店が必要と思う。
- 駅周辺地区における高齢化、買い物難民については、以前の計画の時から問題となっていた。再度こういった会議で案を練り直すということで理解している。
- 酒田市における75歳以上の人口のピークは平成40年頃と見込まれている。今でも高齢者の一人世帯や夫婦など高齢者だけで生活されている方が1万人を超えており、このまま

でいくと買い物等日常生活のいろいろな面で不便をきたすことが顕在化する。短期事業の中で、サービス付き高齢者住宅の考え方が出ているが、当住宅をこの地域に誘導し、一階にスーパーやコンビニがあれば、この地域の居住者も買い物に使うことができるし、いわゆる買い物難民も一定程度解消できるように思う。今以上に市内に空き家を生むことにもつながりかねないが、除雪の心配がなかったり、選んで買い物ができる環境ができる。そこに住まう人と駅を利用される人も利用できる、そういった複合施設を整備することによって、観光インフォメーションの機能や市民が集える機能も実現できる。駅前に立派な商業ビルがあるという思想は持たなくてもいいのではないかと。

- 最近では福祉施設もまちなかの施設として、飲食機能や集会機能をまちに開放する例が紹介されている。例として出ている図書館についても、図書館は単に高校生や住んでいる人の場だけでなく、茅野駅の事例では駅の待合機能やまちのコミュニティスペースとしても機能している。そういった事例も参考にして駅前に住むことを大きな課題と考え、いろいろな枠組を検討する必要があるものと思う。
- 高校生のアンケートにも素晴らしい意見が出ているので生かしてほしい。
- 短期的には観光案内等のソフトができてきているかが一つの問題だと思う。ハード整備以前に観光客を迎え入れる姿勢ができていないかが課題である。
- 8月12日～15日まで河北新報で「中心市街地の再生の教訓」という特集記事を組んでいる。失敗事例として阪神淡路大震災の時に再生を図ろうとした神戸市長田区の例を出している。マンションはすべて埋まったが、テナントは半分埋まらなかった。成功事例として盛岡の南のJRの紫波中央駅の駅前の官民複合施設をあげている。成功例の特徴としては、図書館や県のフットボールセンターの誘致など他にはないものを持ってきていること。また、紫波中央駅前の開発は入るテナントを決めてから事業規模の積算に入っていたということも非常に参考になると思う。最初に規模を決めていくと、あるいは合併特例債を前提にすると後から埋まらないということも心配である。
- 合併特例債は非常に重要な財源だと思うが、他方でこれから復興需要やオリンピック需要が重なる中で、事業をするには厳しい状況に差し掛かっている。事業費が膨らまないような知恵も大切だと思う。

< 優先順位についての意見 >

- 優先順位についてどの範囲をいつごろから着手できるのか現時点での考え方を確認したい。
- ⇒ 旧ジャスコ跡地周辺の優先順位が最も高いというのが市の認識。駅舎はJRの事情により平成33年以降となる。平成32年度までに旧ジャスコ跡地周辺を整備し、基本的にはその後に駅舎・駅前広場という順番になる。ただし、駅前広場については、早期に着手できる場所がないか、引き続き検討を行う。
- まちなか居住の誘導が中・長期となっていることが気になった。旧ジャスコ跡地を考える

上でもまちなか居住は短期的な課題となっている。駅前は今利用されていなくても将来的なポテンシャルがあるところなので、まちづくりの中で居住について短期的にも取り組む姿勢も必要ではないか。